

Théâtre des Opérettes Françaises-15

テアトル・オペレッタ・フランスーズ-15

監修：村田健司 全字幕つき

8月26日(日) 15:00開演 (14:30 開場) 入場料：3000円
会場：アトリエ・デュ・シャン スタジオA (03-5387-0977)

ルコック：サロン・オペレッタ

「愛の策略」

ピアノ： 染矢早裕子

コロンビーヌの「愛の策略」に ピエロはどう立ち向かうか？

コロンビーヌ：秋田 薫 ピエロ：浅田亮子



ルコック：サロン・オペレッタ

「戸口でキッス」

ピアノ：高橋碧伊

売れない弁護士ロバンのもとに舞い込んだ2件の離婚訴訟。 喜びもつかの間・・・

妻 ファニー：千野由紀子 夫 ロバン：吉川響一

～ 恋のひとゆれ ～

メサジェ 「クー・ドゥ・ルリ」

ピアノ：門 真帆

トゥーロンに寄港中の軍艦モンテスキュー号に、代議士と娘秘書がやって来た！
クリスマス休暇は返上、直ちにエジプトへ向かう。

船の上では、代議士と秘書が船酔い！

エジプトでは代議士が女優に一目ぼれ。

女優を追いかけ、恋の逃避行へ・・・

秘書の心は、海軍士官と船長の間で揺れ動き・・・

波乱の末に・・・果たしてハッピーエンドなるか???



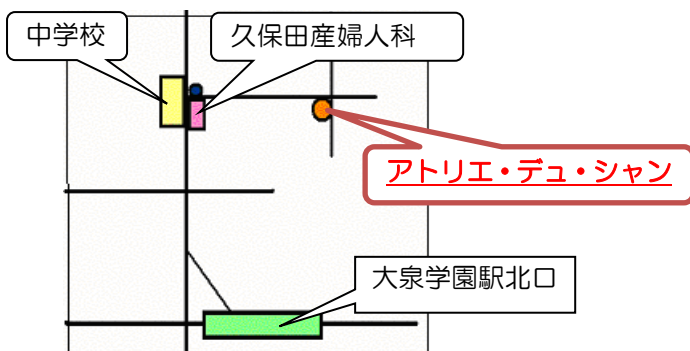
ベアトリス：尾崎千鶴 代議士の娘。秘書として乗船する。気が強い。

ケルマオ：木村雄太 海軍士官 休日返上 自室をベアトリスに占領される。

ソーラ：石井 愛 地方回りの劇団の花形女優。野心的。夢はパリ進出。

プラダル代議士：吉永研二 有能な代議士だが、秘書なしには居られないワケが。

ジェルヴィル船長：大倉修平 40代独身。過去に苦い恋の経験あり。海の男。



お問合せ先：アトリエ・デュ・シャン

〒178-0063 練馬区東大泉 3-29-20

アトリエ・デュ・シャン 代表：村田健司

TEL/FAX：03-5387-0977

Email：info@atelier-d-c.com

ホームページ：www.atelier-d-c.com

テアトル・オペレッタ・フランセーズとは・・・？

テアトル・オペレッタ・フランセーズとは、日本語で「フランスオペレッタ劇場」
「パリの粋」アンドレ・メサジェのオペレッタ、その他のフランスオペレッタを
大泉学園を本拠地に上演しています。2011年6月にスタート、今回で15回目になります。
日本ではあまり知られていないフランス・オペレッタですが、その軽やかな音楽と、
分かりやすく楽しいお話は、誰からも愛される素敵なものばかりです。
1回の公演で2-3演目、日本語のセリフによるお芝居を挟み、
演奏はフランス語で日本語字幕付き、初めてご覧になる方にも楽しめる内容、構成になっております。

過去に上演した作品は以下の通り・・・

メサジェのオペレッタ

ムシュー・ボーケール バラは恋の花 舞台はイギリスのバース。フランス大使館つきの床屋

ムシュー・ボーケールは、社交界の花レディー・マリーに想いを寄せている。

彼女に近づくため身分を偽るが・・・「本当の愛」は手に入るのか？・・・

クー・ドゥ・ルリ 恋のひと揺れ クリスマス休暇直前の軍艦モンテスキュー号に突然の視察。代議士と
その娘がやって来た。船長と海軍士官、そして旅の一座の女優を巻き込んでの大騒動。

ヴェロニク フィアンセからの挑戦状 結婚を夢見るエレーヌは、婚約者が浮気者と知って激怒。

名前と身分を偽り、彼に近づき、ギャフンと言わせてやろうと試みるが・・・

パシオネマン 情熱的に アメリカのビジネスマンステーブソンは、ビジネスのために

フランスにやって来た。妻の浮気を防止するため、青い眼鏡と白いカツラを被せて、老婆のフリをさせる・・・

可愛い郵便局長 プレシニー村騒動 1900年のプレシニー村に、パリジェンヌがやって来た！

村には噂好きな女たち、やる気のない郵便局員と配達係、世話役の公証人夫妻、

中世の貴族の伝統を守る子爵が居た。

レ・プティット・ミシュー ミシュー家の可愛い双子 フランス革命のただ中、イフ侯爵は一人娘をある商人
に託し、イギリスへ逃亡した。それから17年、帰還したイフ侯爵を迎えたのは、双子の姉妹だった・・・

シプリアンはお役御免 乱入男の幸せの行方 あるお芝居の上演中、舞台上に上り込んでワメキ散らす男。

その男を注意しようと一人のマダムが参戦。そのうちに何故か男とマダムは意気投合、舞台は台無しに・・・

ベアルネーズ ベアルンの娘 16世紀末のパルマ公国が舞台の歴史パロディー。 独裁者パルマ公爵の
もとにふたりのフランス人がやって来て大騒ぎ。 死刑か鞭打ちの刑か？ でもハッピーエンド？？

その他のオペレッタ

シャルル・ルコック：サロンオペレッタ「愛の策略」 ピエロとコロンビーヌの寸劇。 コロンビーヌは
ピエロとアルルカンにある条件を出し、策略を立てる。 なぜかピエロに化けて登場し・・・

シャルル・ルコック：サロンオペレッタ「戸でキッス」 売れない弁護士ロバンのもとに舞い込んだ
2件の離婚訴訟。 喜びもつかの間大変な事実が判明し、ふたりは陰悪な雰囲気。 そして・・・

デルメ「月に寄せて」 ある美しい月夜の晩、 ロマンチックにフランススカを誘うベアート。

しかしフランススカはベアートに違うロマンチズムを問いかける・・・それに応えようとしたものの・・・



アトリエ・デュ・シャン（歌の工房）主宰： 村田健司（バリトン・レジェ）

東京藝術大学音楽科卒業、フランス政府給費留学生としてパリ音楽院に留学。

中山悌一、古沢淑子、疋田生次郎、

ジャック・ジャンセン、カミーユ・モラーヌに師事。

1984年 文化庁芸術祭優秀賞 受賞 二期会会員。

フランス人と日本人が共有する豊かな感性にスポットを当て、フランス音楽を楽しみながら
言葉の壁を乗り越えることをモットーに指導、音楽活動をしている。

アトリエ・デュ・シャンのメンバーによる、フランス・オペラ・ハイライトのコンサート「アール・リリック」
フランス・オペレッタを上演する「テアトル・オペレッタ・フランセーズ」、フランス近代の歌曲を中心とした
勉強会とサロン・コンサート「サロン・ド・メロディスト」など。後進の指導に当たっている。